

第1回 辰野町基本構想審議会 議事録

1 日時 令和8年7月 30 日(木) 午後6時 30 分～午後7時 30 分まで

2 場所 辰野町役場庁舎2階 大会議室

3 参加者

【審議会委員】 (敬称略)

肩書	氏 名	役職	出欠
辰野町区長会長	赤羽 修一	会 長	出
辰野町女性団体連絡協議会会長	山寺 はる美	委 員	出
辰野町議会議長	舟橋 秀仁	〃	出
辰野町議会副議長	津谷 彰	〃	出
辰野町商工会会長	檀原 隆宣	〃	出
辰野町農業委員会会長	野澤 典生	〃	欠
辰野町教育委員会教育長職務代理	小澤 晃	〃	出
辰野町民生児童委員協議会会長	赤羽 正臣	〃	出
辰野町観光協会会長	野澤 千尋	〃	出
辰野町赤十字奉仕団委員長	今福 考枝	〃	出
有識者(元男女共同参画社会づくり推進委員会副委員長)	土屋 由美子	副会長	出
辰野町 PTA 連合会会長(南小)	山崎 知佐子	委 員	出
保育園保護者協議会会長(羽北保会長)	竹入 賢二	〃	出

【町側・事務局】

辰野町長		武居 保男	出
辰野町副町長		中谷 俊禎	出
辰野町教育委員会教育長		宮澤 和徳	欠
各所属長	総務課長	三浦 秀治	出
	住民税務課長	桑原 高広	出
	保健福祉課長	矢島 秀教	出
	子育て応援課長	高倉 健一郎	出
	産業振興課長	丸山 貴之	出
	産業振興課商工観光担当課長	岡田 圭助	出
	建設水道課長	熊谷 健司	出
	会計管理者	上島 淑恵	出
	議会事務局長	菅沼 由紀	出
	学校支援課長	竹村 智博	出
	学びの支援課長	菅沼 隆之	出
	辰野病院事務長	桑原 さゆり	出
		社会福祉協議会事務局長	山崎 貴弘
事務局 まちづくり 政策課	課長	高津 稔	出
	DX・地方創生担当課長	赤羽 謙一	出
	企画経営係長	中村 達郎	出
	企画経営係 係員	堀 風雅	出

4 次第

- 1) 開会
- 2) 委嘱書の交付
- 3) 審議委員の紹介
- 4) 町長あいさつ
- 5) 正・副会長の選出
- 6) 協議事項
 - (1) 辰野町第6次総合計画前期基本計画 行財政改革プラン2025実施状況について
 - (2) その他
- 7) その他
- 8) 閉会

5 会議内容

1. 開会
2. 委嘱書の交付
新任の委員に委嘱書の交付
3. 審議委員の紹介
委員及び町事務局自己紹介
4. 町長あいさつ
5. 会長・副会長の選出
会長 赤羽 修一氏(区長会長)
副会長 土屋 由美子(有識者) の両名を選出。
6. 協議事項
 - (1)辰野町第6次総合計画前期基本計画 行財政改革プラン2025実施状況について
 - ・ 資料に基づき、事務局より「辰野町第6次総合計画前期基本計画」と「行財政改革プラン 2025」の実施状況について説明。
 - ・ 質疑等は以下のとおり。

A委員

7ページの成果指標「地域ぐるみで災害への備えが行われている」と思う町民の割合について、28 ページの防災に関する事業の達成状況ではA評価となっているのに、なぜこの成果指標はCとなっているのでしょうか。

併せて、成果についても TTT(辰野助け隊)¹の研修会の開催とありますが、TTT 自体の認知度がまだ低いと思うのですが、それについてはどのようにお考えでしょうか。

¹ TTT(辰野助け隊)とは、大災害が発生した際、行政や地域での初動対応に限界があることから、各地区や避難所等の状況把握とともに、避難所開設など各地区の応急対策を支援するために設置された災害支援チームのことです。

総務課長

本成果指標が設定されている、基本目標6-2「自然災害の被害を最小限に抑制する体制の構築」の各事業につきましては順調に進めてきたと考えており、毎年8月に実施する防災訓練につきましては区や住民の皆様と協力して実施してきました。地域未来交付金を活用した避難所備品の配備についても、一方的に区に配備するのではなく、区の要望を聞いた上での配備を進めてきました。

しかしながら、A委員のおっしゃるとおり、住民意識調査の結果では「地域ぐるみで災害への備えが行われている」については町民の皆様の実感が低いという事で、大変力を入れて取り組んできた事業でありますけれど、力不足と感じております。防災に関する住民の皆様の考えについては、住民の皆様がどのような事を地域ぐるみという事に求められているのかのリサーチが十分であったのかについて疑問を持っており、今後アンケートなどの調査を取る中で把握していく必要があると思っております。

進捗管理指標の取り組みについて、住民参加型防災マップの作成がありますが、令和6年度、令和7年度と行うことができませんでした。17区のうち7区の作成が済んでおりませんが、後期基本計画では17区全部の作成が目標と設定しております。こうした取り組みも地域ぐるみと感じられる取り組みの一つとして取り組んで参りたいと考えております。TTTの取り組みについて昨年2回の研修を実施しました。活動については更なる周知・広報をして参りたいと思っております。

B委員

5ページの「地域包括ケアシステムの構築と拡充」の事業3「地域福祉のネットワーク作りと活動への支援」と事業4「地域包括ケアシステムの構築」についてB判定となっております。

地域福祉のネットワークづくりとは社会福祉協議会に配備している地域福祉コーディネーターの事だと思うのですが、具体的にどうのことをやっているのかわかりません。

これをB評価にした経緯を教えてください。

保健福祉課長

地域福祉コーディネーターは地域生活支援体制整備事業という名目で社会福祉協議会の方へ業務委託しているものとなります。地域福祉コーディネーターは民生児童委員協議会や各地区の地域社協、ふれ愛サロンへ出向き、困りごとなどを集約し、社会福祉協議会などと情報共有を図っております。

しかしながら、まだ活動について浸透していないので、社会福祉協議会と協力し、周知をしていきたいと考えております。

実績としては、地域福祉コーディネーターの他に終活高齢者の為の講演会や健康長寿応援広場の開催、緊急通報サービスの開始、地域包括ケアシステムについての協議会の設置、それから令和8年度では

	重層的支援体制整備事業²を進めてきました。このような事を踏まえ、まったく何も進んでいないという評価のCではなく、先ほどの地域福祉コーディネーターもあまり知られてはいないなどの事もあるため、B評価としました。
B委員	行政がやっている事が町民に伝わっていない事がありますので、今後そのような事についても考えていってください。 2つ目の質問は、「ど真ん中プロジェクト」について、発足から2年くらいしてから会議の連絡がなくなり、終わったのかと思ったらまだ続いており、これがB評価となっている。 「町民とまちがお互いの想いを共有するための場づくり」とあるが、まだ本当に続けているのでしょうか。
まちづくり政策課長	ど真ん中プロジェクトは平成 30 年のテレビ放映をきっかけに始まり、当時はど真ん中会議やキャラクター、ど真ん中ラーメンなど町が主体となって目に見えてわかりやすい形で取り組みを進めてきました。5年経過する中でプロジェクトの目的も少しずつ変化し、現在では、町民の皆様が情報交換や仲間づくりを行って、自分たちの住み続けたいまちを作るという段階に移行したところです。 最終評価につきましては、ど真ん中プロジェクトがどれだけ認知されているかということより、総合計画の将来像である「一人ひとりの活躍が作り出す 住み続けたいまち」がどれだけ具現化されたかを評価の主眼としております。成果としては、日本中心ゼロポイントを守る会や日本の中心を美しくする会など自主的な団体の活動も積極的に行われるようになってきた事があります。 以上の事から、町が主体となり引っ張る段階から、活動が自走し、それを町が側面から応援する段階に移行し、総合的には 50%～80%達成のB評価として評価しました。
B委員	10 ページのほたる童謡公園のゲンジボタル目撃数について、ここ数年減少傾向ですが、その要因やカワニナの現状等について調べていますか。
産業振興課 商工観光担当課長	産業振興課、荒神山のほたるラボ、調査ボランティアの皆様を中心にほたるの幼虫の上陸調査、ほたるの発生調査、カワニナの数量、気温、湿度、水温などを調査しております。ここ数年のほたるの減少傾向について

² 重層的支援体制整備事業とは、地域主体で行われている既存の取組を活かし、複数の支援事業を一体的に実施することで、支援機関や地域団体、地域住民と連携して、課題を抱える世帯への包括的な支援体制を構築し、地域共生社会の実現を目指すものです。

ては、ほたる上陸の時期に雨が少なく、気温が高かったことが減少の一因であると考えております。

また、ほたるは数年間のスパンで波のように増減を繰り返しております。今後、データをしっかり踏まえ、ほたるの発生に適した環境を作っていきたいと考えております。

(2) その他

- ・ 質疑等は以下のとおり。

C委員

現在、就業人数が人口減少のみならず高齢化の影響も受ける状況のため、減っていく人が多く、実際に今働いている人をどれだけ今まで通り継続させていくか、事業継承しながらやっていくかが重要で、それについては町も同じだと思っております。政策についても、町民の皆様が全部を知るわけではないですが、相談をしたいところには各自来ますので特化した形で行政も動いていけばよいのではと思っております。それから、子育て世代、就労世代、高齢者などそれぞれをバックアップしていける形で後期基本計画を立てていってほしいです。また、120個ほど評価項目があるが、削れるものを削り、特化していったらどうかと思っております。

まちづくり政策課長

人口減少や財政難の中、日々状況が変化していくなかで後期が始まっており、時代の変化にあわせて計画を進めていきたいと思っております。行政だけではできない事もありますので、皆様にもご協力いただきながらより良いまちを作っていきたいと思っておりますので、引き続きご協力をお願いします。

D委員

レビューについて、施策ごとに主な成果と課題が記されていますが、この課題を克服するための対策も記載していただきたいです。

まちづくり政策課長

この様に、5年間の評価をレビューで出したことは今までなく、皆様におわかりやすくするために、主な成果と課題を記載させていただきました。貴重なご意見ありがとうございました。

E委員

今回は団体代表として、初めてこのような会議に参加させていただきました。このような事については、他の会長さんと共有する機会がなく、フィードバックをする機会があればもっとこの取り組みが知れ渡っていくのではと思いました。

あと、何も知識がない状態なので、どういった事を引き継げばいいか明確にしていいただければ、より有意義な会になるのではと思っております。

まちづくり政策課長	この会議の内容について、ホームページでも公開しておりますが、各団体の方でもこの取り組みについて共有していただくとともに、様々なご意見をいただければと思っております。
D委員	町政報告のような場を作っていただきたいです。
まちづくり政策課長	ありがとうございます。内部で検討させていただきます。
F委員	ニュースで外国籍の方が増えており、外国籍の方の割合が今後増えていくという予想があると聞きました。今後、共生社会の観点から外国籍の方たちの人口やその割合も考えていく必要があるのではないかと思います。
まちづくり政策課長	今年度も豊南短大に留学生の方がかなり入りまして、町民となった方も100人ほどおり、現在、辰野町には500人強は外国人の方がいらっしゃいます。日本語が話せない方もおりますので、私たちまちづくり政策課が行政部門として業務を担っておりますので、県とも相談をし、対応をしている所です。何かお困りごとなどありましたら、ご相談いただければと思っております。

7. その他

次回の審議会は秋頃を予定(詳細については未定)

8. 閉会 (午後7時30分)

以上